

製品名: DTYMK ウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe02975**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.28mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 24 kDa; Observed MW: 24 kDa

抗原情報

遺伝子名	DTYMK
別名	CDC8; TMPK; TYMK; PP3731
遺伝子 ID	1841
SwissProt ID	P23919
免疫原	ヒト DTYMK の合成ペプチド

背景

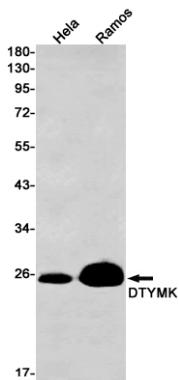
DTYMK（デオキシチミジル酸キナーゼ（チミジル酸キナーゼ））は、CDC8、TMPK、TYMK、または dTMP キナーゼとも呼ばれ、

チミジル酸キナーゼファミリーに属する 212 個のアミノ酸からなるタンパク質で、ピリミジン代謝に関与しています。具体的には、DTYMK は ATP 依存性の dTMP (デオキシチミジン一リン酸) から dTDP (デオキシチミジン二リン酸) への変換を触媒し、これが DNA 中の 4 つのヌクレオチドの 1 つとして機能します。dTDP の触媒的生成における役割を通じて、DTYMK は DNA 合成経路において重要な役割を果たし、細胞周期の進行と細胞増殖に関与していると考えられています。DTYMK の発現レベルは細胞周期の S 期 (合成期) にピークに達し、DNA 合成における DTYMK の役割をさらに裏付けています。

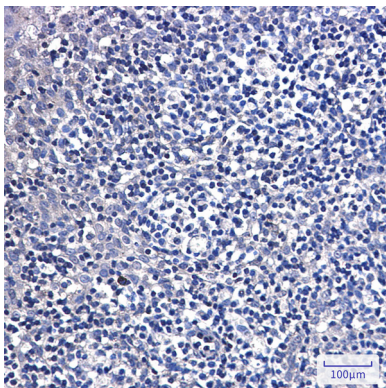
研究分野

エピジェネティクスと核シグナル伝達

画像データ



DTYMK 抗体を使用した HeLa、Ramos 溶解物中の DTYMK のウエスタン ブロット分析。



DTYMK 抗体を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃腺の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高压高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。